月刊

地域保健

2014

●鼎談

地域を健康にするデータ活用とは

- ●プロントランナー 佐川きよみさん《葛飾区保健所 青戸保健センター 青戸保健担当係長》
- ●ピープル 工藤 啓さん《特定非営利活動法人 育て上げネット 理事長》



The Japanese Journal of Community Health Care [Vol.45.No.4]

6 鼎 談

地域を健康にする データ活用とは

(出席者

汁 一郎さん(東北大学大学院医学系研究科)

土屋厚子さん(静岡県健康福祉部医療健康局)

古井祐司さん (東京大学政策ビジョン研究センター) =司会

- 1 フロントランナー 佐川きよみさん (葛飾区保健所 青戸保健センター 青戸保健担当係長)
- (32) 解 説 データヘルス計画について
- 46 特別寄稿 島嶼に働く看護職の軌跡をたどりたい ~その生き様に惹かれて~
- 50 REPORT-1 第 2 回日本公衆衛生看護学会学術集会
- 54 REPORT・2 日本看護協会 復興フォーラム 2014 「被災地の看護は、いま」
- 72 ニュース
- 97 ひよこ、ホップ、ステップ、ジャンプ!

岡田慶子さん (高松市勝賀保健ステーション)

102 ピープル 工藤 啓さん (特定非営利活動法人 育て上げネット 理事長)

連載	(58) 保健師のための閑話ケア《第40回》	藤本裕明
	⑥ 中臣さんの 環境衛生ウオッチング 《第 25 回》	中臣昌広
	(67) いまどき子育てアドバイス 《第 199 回》	中川信子

情報BO※



保健師だからこその 保健師は、 地域を健康にするオーダーメイドの職人です。 「見える技術」を目指して ●葛飾区保健所 青戸保健センター 青戸保健担当係長



人たちが暮らす町、葛飾区。青戸保健東京の葛飾区といえば、映画『三ちら葛飾び亀有公園前派出所』などで人情味があふれる下町として知る人も多いだろう。そのイメージどおり、現実の世界でも近隣とのつながりが深く、保健師による実態調査では「会ったときにはによる実態調査では「会ったときにはによる実態調査では「会ったときにはによる実態調査では「会ったときにはがる。高い技術を持った町工場が「葛飾びといえば、映画『男は東京の葛飾区といえば、映画『男は



迫った。ナー・佐川きよみさんの保健師人生にセンターを訪れ、今月のフロントラン

なぜか看護学校に科学部からの出発

眠らせて解剖したものです」がってくるんですよ。ウシガエルを捕かってくるんですよ。ウシガエルを捕かってくるんですよ。ウシガエルを捕がってくるんですよ。ウシガエルを捕がってくるんですよ。

る職人で、家で洋裁に明け暮れてい父は会社員だが、母は洋服を仕立て



柴又駅前には『男はつらいよ』シリーズの寅さんの 銅像が。葛飾区は人情味あふれる下町が多い



静岡県健康福祉部医療健康局 土屋厚子さん



司会 東京大学政策ビジョン研究センター 古井祐司さん





タを起点にして、

健康へと導いていくか」を論じる。

まっている。

が主要施策の一つとして示され、

見える化

するデータ活用」がテーマです。 古井 本日の鼎談は、「地域を健康に

私は東京大学政策ビジョン研究セン科は東京大学政策ビジョン研究センターでは、現在、創設した当研究センターでは、現在、創設した当研究センターでは、現在、名る効果の検証などに対すると同時に、健康づくりが地域および社会にある。

本日は公衆衛生学の第一人者で、わ本日は公衆衛生学の第一人者で、地域保健活動の第一線で活躍されている静岡健活動の第一線で活躍されている静岡県の土屋専門監をお迎えし、地域の健康が国の健康施策を牽引してくださってが国の健康施策を牽引してくださってが国の健康をでいる。

願いいたします。 両先生方、本日はどうぞよろしくお

て、たとえば生活習慣と医療費との関域でコホート研究を行っておりまし辻。東北大学の辻と申します。主に地

てきました。よろしくお願いします。策にすることも重視していますので、策にすることも重視していますので、東にすることも発表してきました。

土屋 静岡県健康福祉部健康増進課の土屋です。健康増進課には、2008 (平成20)年度から配属されました。 特定健診データを、医療保険者の協力 特定健診データを、医療保険者の協力 をいただき県独自で分析しています。 をして、データの「見える化」をする ことで、健康づくりが推進できるなと ことで、健康づくりが推進できるなと

てコメントをいただけますか。な視点から、健康づくりの効果についしておられます。疫学的、予防医学的

化し、人々をさらに健康にしていく余 を拡充することによって医療費を適正 という研究結果もあるので、予防医学 税も含め、さまざまな施策がある中 スクが揃うと、医療費が4割も増える できるのは予防医学しかないと思い 険の負担も減らしていくことを同時に 手を打たなければなりません。 会保障の存続すら危ぶまれている状況 喫煙・肥満・運動不足の三つのリ 人口減少と高齢化が進み、 一人一人のQOLを上げ、 増え続ける医療費には何らかの 社会保 消費増 の社 ま

よって決まってしまうところもありまられるのと同じくらい、社会環境にいっても、健康行動は自分自身で決めただ、一人一人のQOLを上げると地はまだまだあると思っています。

必要があるでしょう。るように、今後はそこにも目を向けるす。健康日本21の第2次で強調してい

この国は今、個別化社会となり無縁でみんなが元気な時代はそれで済むかてみんなが元気な時代はそれで済むかもしれませんが、若い人が減り社会が超高齢化していく中では、一人で暮らせるかというと難しい。人と人とのつせるかというと難しい。人と人とのつけるかというと難しい。人と人とのつけるかというと難しい。人と人とのつけるかというと難しい。

があります。 慣を可能にする環境条件を整える必要 だけでは限界があり、 ンティア組織に加え、 いるように、 自治会や健康づくり食生活改善推 健康日 会、8020推進員などのボラ 学校、 健康づくりは、 そのために、家族や仲 本21の中でも強調されて 職域などと連携協働に 望ましい生活習 医療機関、 個人の力

よる健康づくりが必要です。

とのつながりや社会環境の大切さを前古井 健康日本21の第2次は、人と人



ですか。
ですか。
ですか。
のに出したところが印象的です。一方で、個人のリスクに着目した施策の一つに特定健診・特定保健指導があります。これが導入されたことで健康づくのにとのような影響を与えたとお考え

辻 保険者が予防に責任を持つことが法律などに明記されたので、かなりインパクトがあったのではないでしょうか。そこから保険者機能そのものが変わってきていると思います。昨年末に発表された「平成24年国民健康・栄養税表された「平成24年国民健康・栄養初めて減ったのはその成果だと思いますし、成功体験をほかにも広げられるといいですね。

データがたまるようになった意義も大いうことですね。保険者に経年的なて、個人の意識も変わってきていると古井 特定健診・特定保健指導によっ

ひよし* オップ* ステップ*

******!

今は3年目としての仕事をしっかりと

いつかは尊敬する 先輩のような保健師に



文=白井美樹(ライター) 写真= C.Kent

高松市の中心地から、電車で一駅分さんは、すばやくデスクから立ち上がさんは、すばやくデスクから立ち上がり、たちまち親しみを感じさせてくれり、たちまち親しみを感じさせてくれるような、すてきな笑顔で迎えてくれ

「地域で幅広い人の健康を」

高松市で生まれ育った岡田さん。子どものころは、たいへん活発な女の子だったそうだ。一つ上にお兄さんがいだったそうだ。一つ上にお兄さんがいだって遊んでいると、自然と外遊び混じって遊んでいると、自然と外遊び

有名なところだそうだ。実は「うちわ」の産地として全国的にい浮かべる人も多いかもしれないが、丸亀というと、すぐに讃岐うどんを思丸

「実は、中学のときから、資格のある亀高校の1年生のときだった。

いすだった。 仕事に就きたいと思っていました」と はの進路相談室を訪れて、一冊の本 を見つけた。いろいろな職業のことが を見つけた。いろいろな職業のことが を見つけた。いろいろな職業のことが を見つけた。いろいろな職業のことが

どんなことに興味を持っているかという質問に答えながら、どんどん読みいう質問に答えながら、どんどん読み進んでいくと、岡田さんがたどり着いた職業が保健師だった。説明文には、た職業が保健師だった。説明文には、
はくひかれ、保健師になることを決意
はくひかれ、保健師になることを決意
はくひかれ、保健師になることを決意
はくひかれ、保健師になることを決意
はいう質問に答えながら、どんどん読み
はいうないがら、とんどん読み
はいうないがらには、
はいうないがらには、
はいうないがらにはいるないないるないがらにはいるないがらにはいるないがらにはいるないがらにはいるないがらにはいるないがらにはいるないがらにはいるないがらにはいるないないがらにはいるないがらにはいるないがらにはいるないがらにはいいるないがらにはいるないはいはいはいるないないがらにはいるないがらにはいが

暮らしを開始したのである。 入学。生まれて初めて、岡山県で一人日指し、岡山大学医学部の保健学科に目れて、田山県で一人

者と親交を深めたりした。に凝ってみたり、同じ保健学科の入居とって楽しいものだったようだ。内装とって楽しいでの暮らしは、岡田さんにンションでの暮らしは、岡田さんに

らいは帰省して、大学に戻るときにはらないくらいの距離。2ヵ月に1回くのは別と香川は電車1本で1時間もかか



大学の卒業式にて、友人たちとともに(写真・岡田さんより提供)

一目で気に入った可愛らしい学生

すべ ての若者が、 幸せに働き続けられるために

ひきこもり」「ニート」の就労支援



啓さん

特定非営利活動法人育で上げネット ■ 聞き手 白井美樹 (ライター) 理事長

このテーマを追求するようになったの があったからなのだろう。 なったのがこの年になる。若くして、 人的に若者の就労支援に関わるように するのかは難しい」とのことだが、 歳のときだった。 ら帰国した2001(平成13)年。 工藤さんが起業したのは、 海外留学で何を学び、 「何をもって起業と どんな経緯 留学先か 23 たのです。

た。各国を巡り、 工藤 出会った仲間に、 して、よく海外旅行に行っていまし いたのですが、大学の長期休暇を利用 もともとは日本の大学に通って 台湾人のグル たまたまシアトルで ・プが

> に来ているのか」と尋ねたところ、「実いたのです。「なぜ、アメリカに勉強 しれない。そうなったときに、 アメリカに逃すことができる」と答え カの市民権を得ていたら家族や親戚を いつ中国との戦争が勃発するかも アメリ

中退して、 を決めたのです。 と強く思うようになり、 「彼らとしばらく人生を共にしたい」 ましたね。 交問題を考え、 いるということに、 お互いに19歳くらい。その年齢で外 シアトルのカレッジに留学 なぜかわからないけれど、 家族の将来まで考えて 大きな衝撃を受け 日本の大学を

●くどう・けい●

と呼ばれる若者たちが、

たこのジャンルを選び、

トし続けてきた。若くして起業をするときに、当時としては異色だっ

情熱を注いできたその胸のうちを聞いてみた。

社会の中で働く場を獲得し、

に設立してから10年がたつ。その間、

工藤啓さんが、

NPO法人「育て上げネット」を2004(平成16)

いわゆる「ひきこもり」「ニー

働き続けることをサ

特定非営利活動法人育て上げネット理事長。2001 (平 成13) 年、若者就労支援を専門とする任意団体として 設立。2004年 (平成16) NPO法人化。著書に「NPO で働く-社会の課題を解決する仕事-|(東洋経済新報 社)、「大卒だって無職になる- "はたらく"につまず く若者たち-」(エンターブレイン) など。金沢工業大 学客員教授、東洋大学非常勤講師。内閣府「パーソナ ルサポートサービス検討委員会」委員 、東京都「東京 都生涯学習審議会」委員等歴任。

と思ったきっかけは たのですか。 -シアトルではどんなことを学んでい 若者の就労支援をしよう

力の問題もあり、 したのです。そこでの学風に触れて レッジのビジネス学部会計学科。 進学したのが、 その科に進むことに コミュニティカ 語学

写真: カミヤス セイ 地域保健 2014.4 102 103 地域保健 2014.4